



みんなで作る

ふれあいの大屋根

“滝沢市交流拠点複合施設”

住民が集う場として、大屋根の下、麓に出来た集落のように顔を出す様々な交流施設がにぎわいをつくれます。

ROOF NEWS Vol.11

※屋根の英単語 ROOF をとり、タイトルとしました。

平成 26.10.24 滝沢市（交流拠点整備室）

ROOF1 10月8日に起工式が開催されました

滝沢市の鶴飼地区に計画されている交流拠点複合施設の起工式が10月8日に、建設敷地にて行われました。柳村典秀市長や工事関係者など、約40人が参加して、工事の安全と建物の無事完成を祈願しました。

昨年末から、造成工事は進められてきましたが、これから、いよいよ建物本体の工事が始まります。

ROOF2 これからの工事スケジュール

施設は、平成28年8月に完成する予定です。10月に行われる岩手国体に合わせ、施設の一部をオープンできるよう、準備を進める予定です。

冬季積雪時には工事を休む期間もありますが、これから2年弱、杭工事、基礎工事、鉄骨の工事、躯体工事、外装や屋根工事、内装工事、外構工事、建物検査等という流れで進んでいきます。安全第一に、市民の皆さんのご期待に添える、楽しい施設を目指し、工事が進められます。

ROOF3 現在の現場の様子

現在、敷地は造成が進み、実際の地盤レベルから約1m下がった状態となっています。建物が建つ位置は杭・基礎工事に備え、さらに1.5mほど下がった状態です。雨水排水対策として設置される調整池は工事が終了し、芝生が張られています。



現在の敷地の様子

ROOF4 工事の様子

地縄張り

工事の開始に先立ち、これから建てようとする建物の位置に縄を張り、設計図通りになっているか、事業者・設計者・施工者が確認します。

これまではなかなか実感がわかなかったのですが、今回建てる建物の、現地での大きさがようやくはっきりと認識されます。

杭の準備工事

地縄を確認し建物位置が決まると、いよいよ工事が本格的に始まります。まずは建物をしっかりと支える最も大切な杭工事です。工事の進め方に間違いがないよう、試験杭の施工から始まります。

現在まだ、工事は始まっていませんが、杭を施工する業者さんが、設計者・施工者と打ち合わせを行い、図面を慎重に描いており、その図面を基に工事が開始されます。



地縄張り作業の様子

ROOF4 まとめ

いよいよ工事が本格的に着工しました。これから、建物の完成まで、建物の工事の進み具合などを逐次、皆様へROOF NEWSでお知らせしていきますので、引き続きよろしくお願い致します。



複合施設の完成予想図